

2019年11月

海外からのエントリーについて

全日本リコーダー教育研究会

本研究会が主催している「全日本リコーダーコンテスト」は、日本国内に組織されている「地方リコーダー教育研究会」が主催した予選を通過した個人・団体がエントリーしている、日本国内において最大のリコーダーコンテストです。近年は、アジア各国からの参加もあり、2019年3月で第40回を数え、日本で最も歴史ある大会でもあります。

しかし今大会より、国内コンテストとして位置付け、海外からのエントリーについては認めない方針となりました。

今年度の第41回全日本リコーダーコンテストについては、海外（団体、個人ともに）から参加希望の場合は、移行措置として以下のように対応します。

1. 審査対象外のオープン参加という立場での出演は認める。

※参加希望の場合は、大会事務局まで各団体のプロフィール等をまとめたエントリー用紙（A4版1ページ）をご送付ください。それをもとに出場の可否を決定します。
（エントリー用紙の様式、送付方法はメールでお問い合わせください。）

申し込み締切は、2019年1月31日までとします。（期日厳守願います）

2. 出演時間帯は、本コンテストプログラム終了後から結果発表までの時間とする。
3. 審査対象外となるが、出場の証として賞状を贈呈する。
4. 参加についての経費は全て参加団体が負担するものとする。なお、参加費は規程の金額を納めることとする。
5. 先着順に受け付け、コンテストプログラム数に応じてエントリー数を決定する。
6. 国内の「地方リコーダー教育研究会」が主催するリコーダーコンテスト（兼 全日本リコーダーコンテスト予選）への出場については、各研究会ごとに対応する。
しかし、当該コンテストから全日本リコーダーコンテストに推薦することはできない。